

西アジア考古学関連学術論文・出版物 (2023年1月～12月)

日本の研究者による西アジア考古学関連の出版物について、おもに会員の皆様から寄せられた情報にもとづいて作成しております。

『西アジア考古学』25号編集委員会

- Aviam, M., H. Kuwabara, S. Hasegawa and Y. Paz 2023.7 A First-Second Century CE Synagogue on a Jewish Estate on Top of Tel Rekhesh. In L. I. Levine, Z. Weiss and U. Leibner (eds.), *Ancient Synagogues Revealed 1981-2022*, 125-127. Jerusalem, Israel Exploration Society.
- 足立拓朗 2023.3 「西アジアの都市化と遊牧民交易」山田重郎 (編) 『都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究5 研究成果報告2022年度』19-26頁 筑波大学西アジア文明研究センター。
- Abd El Daym, A. 2023 Brief Notes on The Akoris Pottery in 2022. In H. Kawanishi, S. Tsujimura and T. Hanasaka (eds.), *Preliminary Report Akoris 2022*, 29-31. Nagoya, Nagoya University.
- 安倍雅史・山田綾乃・長尾琢磨・鈴木崇司・岡崎健治 2023.6 「パハレーン、ワーディー・アッ=サイル考古学プロジェクト2023」『日本西アジア考古学会第28回総会・大会要旨集』51-52頁 日本西アジア考古学会。
- Alibaigi, S., I. Rezaei, F. Moradi, S. Haruta, J. MacGinnis, N. Aminikhah and S. Khosravi 2023.7 Daya Cave: A Place of Worship of Mesopotamian and Persian Gods in the West Central Zagros Mountains, Iran. *American Journal of Archaeology* 127(3): 419-435. (doi.org/10.1086/724659)
- 有村 誠 2023.3 「新石器時代の打製石器製作の性格—カラハン・チベ遺跡の石器観察を通して—」山田重郎 (編) 『都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究5 研究成果報告2022年度』9-12頁 筑波大学西アジア文明研究センター。
- 有村元春 2023.3 「古代エジプト新王国時代に流通した寸胴形アンフォラに関する一考察」『早稲田大学大学院文学研究科紀要』68輯 579-597頁。
- 有村元春 2023.6 「後期青銅器時代のエジプトで流通した外来系黒色磨研土器」『日本西アジア考古学会第28回総会・大会要旨集』21-22頁 日本西アジア考古学会。
- 安間 了・佐野貴司・申 基澈・昆 慶明・松井恵子 2023.3 「携帯式蛍光X線分析用の標準岩石試料の整備」山田重郎 (編) 『都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究5 研究成果報告2022年度』189-199頁 筑波大学西アジア文明研究センター。
- 安間 了・申 基澈・渡辺千香子・辻 彰洋・佐野貴司・齋藤有・中野孝教・横尾頼子・小泉龍人・M. アルタウィール・A. マーシュ・H. ハマ・K. ラシード・J. ジョサリ 2023.3 「スレマニ博物館所蔵の楔形文書粘土板胎土の化学組成」山田重郎 (編) 『都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究5 研究成果報告2022年度』149-154頁 筑波大学西アジア文明研究センター。
- 石渡美江 2023.2 「踊り子像粘土板について」『ヘレニズム～イスラーム考古学研究 2021-2022』23-32頁。
- 井谷剛造 2023.7 「アラビア文字墓碑銘文の世界から」『シルクロード学研究会 2023夏 資料集』53-60頁 帝京大学文化財研究所。
- 岩井俊平 2023.7 「春期調査 AKB-20区(大雲寺推定地北側)の発掘報告」『シルクロード学研究会 2023夏 資料集』37-42頁 帝京大学文化財研究所。
- 岩井俊平・橋本 哲・國下多美樹 2023.3 「中央アジアの仏教寺院を掘る—キルギス共和国、アク・ベシム(スイヤブ)遺跡・第2仏教寺院址の調査(2022)—」日本西アジア考古学会 (編) 『第30回西アジア発掘調査報告会報告集 令和4年度 考古学が語る古代オリエント』109-112頁 日本西アジア考古学会。
- 上杉彰紀 2023.11 『インダス文明ガイドブック』新泉社。
- 上杉彰紀・山口雄治・渡部展也・杉田 暁 2023.3 「パハレーン島における古ディルムン時代の墳墓群の測量調査—ディルムンマッピング・プロジェクト—」日本西アジア考古学会 (編) 『第30回西アジア発掘調査報告会報告集 令和4年度 考古学が語る古代オリエント』47-52頁 日本西アジア考古学会。
- 上杉彰紀・M. ルチアーニ 2023.3 「アラビア半島内陸乾燥域における青銅器時代の都市景観—サウジアラビア、クレイヤ遺跡の調査—」日本西アジア考古学会 (編) 『第30回西アジア発掘調査報告会報告集 令和4年度 考古学が語る古代オリエント』53-58頁 日本西アジア考古学会。
- 植月 学・山内和也・B. アマンバエバ 2023.6 「アク・ベシム遺跡の二街区における動物資源利用の差とその意味」『日本西アジア考古学会第28回総会・大会要旨集』47-48頁 日本西アジア考古学会。
- 宇野隆夫・寺村裕史・村上智見・A. ベグマトフ・A. ベルディムロドフ・G. ボゴモロフ・A. サンディボエフ 2023.3 「ソグド王離宮を掘る—ウズベキスタン共和国カフィール・カラ遺跡(シャフリスタン地区)2022年度発掘調査—」日本西アジア考古学会 (編) 『第30回西アジア発掘調査報告会報告集 令和4年度 考古学が語る古代オリエント』98-102頁 日本西アジア考古学会。
- 大黒俊二・林佳世子 (編) 2023.11 『岩波講座世界歴史2—古代西アジアとギリシア—前1世紀—』岩波書店。
- 大城道則 2023.2 『古代エジプト人は何を描いたのか—サハラ砂漠の原始絵画と文明の記憶—』教育評論社。
- 大城道則・芝田幸一郎・角道亮介 2023.7 『考古学者が発掘調査をしていたら、怖い目にあった話』ポプラ社。
- 大谷育恵 2023.1 「遊牧国家・匈奴と秦漢帝国のあいだ—近年の匈奴考古学の成果を中心に—」『シルクロード学研究会 2023冬 資料集』51-52頁 帝京大学文化財研究所。
- 大沼柗平 2023.3 「南コーカサス地域分布カイトサイトの考古学的研究—レルナゴーク・カイトサイト1遺跡と周辺での調査報告を中心に—」『筑波大学先史学・考古学研究』34号 29-53頁。
- Odaka, T. 2023.5 Clay Containers and Mobility in the Final Stage of Neolithisation: Storage Bins and the Earliest Pottery at Tell el-Kerkh, Northwest Syria. In O. P.

- Nieuwenhuyse, E. Bernbeck and K. Berghuijs (eds.), *Containers of Change: Ancient Container Technologies from Eastern to Western Asia*, 223-237. Leiden, Sidestone Press.
- 小高敬寛・下釜和也・三木健裕・板橋 悠 2023.6「イラク・クルディスタン、シャイフ・マリフ遺跡Ⅱ号丘の年代について」『日本西アジア考古学会第28回総会・大会要旨集』37-38頁 日本西アジア考古学会。
- 小高敬寛・前田 修・三木健裕・早川裕式・P. イェウェル・H. ハマ＝ガリーブ 2023.3「新石器化と都市化のはざまーイラク・クルディスタン、シャイフ・マリフ遺跡の第1次発掘調査(2022年)ー」日本西アジア考古学会(編)『第30回西アジア発掘調査報告会報告集 令和4年度 考古学が語る古代オリエント』36-41頁 日本西アジア考古学会。
- Odaka, T., O. Maeda, K. Shimogama, Y. S. Hayakawa, Y. Nishiaki, N. A. Mohammed and K. Rasheed 2023.5 Late Prehistoric Investigations at Shakar Tepe, the Shahrizor Plain, Iraqi Kurdistan: Preliminary Results of the First Season (2019). In N. Marchetti, F. Cavaliere, E. Cirelli, C. D'Orazio, G. Giacosa, M. Guidetti and E. Mariani (eds.), *Proceedings of the 12th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East, Volume 2*, 415-428. Wiesbaden, Harrassowitz.
- Odaka, T., O. Maeda, T. Miki, Y. S. Hayakawa, P. Yewer and H. Hama Gharib 2023.3 Excavations at Shaikh Marif, Iraqi Kurdistan: Preliminary Report of the First Season (2022). *Ancient Civilizations and Cultural Resources* 1: 1-22.
- 影山悦子 2023.7「セミレチエのソグド人キリスト教徒が制作したとされる銀器について」『シルクロード学研究会 2023夏 資料集』61-66頁 帝京大学文化財研究所。
- 門脇誠二・田村 亨・木田梨沙子・廣瀬允人・須賀永帰・西秋良宏 2023.6「南ヨルダン、Tor Faraj 遺跡における中部旧石器技術の多様性と理化学年代」『日本西アジア考古学会第28回総会・大会要旨集』29-30頁 日本西アジア考古学会。
- 門脇誠二・廣瀬允人・須賀永帰・殷 健杰・木元菜奈子・O. タラウネ・D. ヘンリー 2023.3「ホモ・サピエンスの拡散・定着期における文化動態ー南ヨルダン、カルハ山の旧石器遺跡調査(2022年)ー」日本西アジア考古学会(編)『第30回西アジア発掘調査報告会報告集 令和4年度 考古学が語る古代オリエント』26-29頁 日本西アジア考古学会。
- 唐橋 文 2023.11「シュメール都市国家における王権と祭儀」大黒俊二・林佳世子(編)『岩波講座世界歴史2ー古代西アジアとギリシア ー前1世紀ー』183-197頁 岩波書店。
- Garcia-Ventura, A. and F. Karahashi 2023.4 Socio-Economic Aspects and Agency of Female Maš-da-ri-a Contributors in Presargonic Lagash. In N. M. Brisch and F. Karahashi (eds.), *Women and Religion in the Ancient Near East and Asia*, 23-44. Boston, De Gruyter.
- 河合 望 2023.11「新王国時代第一王朝のエジプト」大黒俊二・林佳世子(編)『岩波講座世界歴史2ー古代西アジアとギリシア ー前1世紀ー』199-215頁 岩波書店。
- Kawai, N. 2023.4 The Lioness Goddess Statuary from the Rock-Cut Chambers at Northwest Saqqara and Their Cult in Middle Kingdom Egypt. In N. M. Brisch and F. Karahashi (eds.), *Women and Religion in the Ancient Near East and Asia*, 303-338. Boston, De Gruyter.
- Kawakami, N. 2023.3 The Location of the Ancient City of Akkade: Review of Past Theories and Identification of Issues for Formulating a Specific Methodology for Searching Akkade. *Al-Rafidān* 44: 45-68.
- 川崎建三 2023.2「ファヤズテパ出土壁画と『法華経』ー「光背中の仏陀」をめぐるー」『東洋哲学研究所紀要』38号 41-58頁。
- 川崎建三 2023.3「北バクトリアにおける仏教の伝播と様相」東洋哲学研究所(編)『仏教東漸の道 インド・中央アジア篇』(シルクロード研究論集 第1巻) 435-478頁 東洋哲学研究所。
- 川崎建三 2023.5「新刊紹介 シルクロード研究論集 第1巻『仏教東漸の道 インド・中央アジア篇』東洋哲学研究所編」『東洋学術研究』62巻1号 344-352頁。
- 川崎建三 2023.9「中央アジアにおける仏教文化の盛衰」東京富士美術館(編)『世界遺産 大シルクロード展』258-261頁 東京富士美術館。
- Kawanishi, H. 2023 General View. In H. Kawanishi, S. Tsujimura and T. Hanasaka (eds.), *Preliminary Report Akoris 2022*, 3-6. Nagoya, Nagoya University.
- Kawanishi, H. 2023 Excavation of the Settlement Site in the Southwest Area. In H. Kawanishi, S. Tsujimura and T. Hanasaka (eds.), *Preliminary Report Akoris 2022*, 6-12. Nagoya, Nagoya University.
- Kawanishi, H., S. Tsujimura and T. Hanasaka (eds.) 2023 *Preliminary Report Akoris 2022*. Nagoya, Nagoya University.
- 木元菜奈子・門脇誠二 2023.6「レバント地方の終末期旧石器時代における貝製ビーズのネットワーク分析」『日本西アジア考古学会第28回総会・大会要旨集』31頁 日本西アジア考古学会。
- 木元菜奈子・黒住耐二・門脇誠二・S. マサデ・D. O. ヘンリー 2023.3「摩耗痕分析による旧石器時代の貝製ビーズの利用法の検証ー南ヨルダン、トール・ハマル遺跡出土の海産貝類の分析ー」『西アジア考古学』24号 1-13頁。
- 榎原功一 2023.2「キルギス共和国ケン・ブルン(Ken・Burun) 遺跡の瓦に関する一考察」『帝京大学文化財研究所研究報告』21集 103-114頁。
- 榎原功一 2023.7「キルギス共和国アク・ベシム遺跡 AKB-8 区の調査(2023)」『シルクロード学研究会 2023夏 資料集』17-27頁 帝京大学文化財研究所。
- 榎原功一・平野 修・山内和也 2023.3「シルクロードの国際交易都市スイヤブの成立と変遷ーキルギス共和国アク・ベシム遺跡の調査(2022)ー」日本西アジア考古学会(編)『第30回西アジア発掘調査報告会報告集 令和4年度 考古学が語る古代オリエント』103-108頁 日本西アジア考古学会。
- 久米正吾 2023.3「遺跡コラムー天山山脈の青銅器時代遺跡群ー」『中国文明起源解明の新・考古学イニシアティブ Newsletter』5号 7頁。
- 久米正吾 2023.6「草原の農耕」小松久男・梅村 坦・坂井弘紀・林 俊雄・前田弘毅・松田孝一(編)『中央ユーラシア文化事典』232-233頁 丸善出版。
- 久米正吾・新井才二 2023.3「天山山脈の最初の牧畜民」今村薫(編)『中央アジア牧畜社会ー人・動物・交錯・移動ー』32-59頁 京都大学学術出版会。
- 久米正吾・新井才二・H. ホシモフ・B. マトババエフ 2023.3「原シルクロードの形成(2)ーウズベキスタン、ダルヴェルジン遺跡(第3次)の発掘調査(2022年)ー」日本西アジア考古学会(編)『第30回西アジア発掘調査報告会報告集 令和4年度 考古学が語る古代オリエント』80-84頁 日本西アジア考古学会。

- 黒澤正紀・西山伸一・池端 慶 2023.3 「イラク北東部鉄器時代遺跡の製鉄関連スラグ」山田重郎（編）『都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究5 研究成果報告 2022 年度』133-148 頁 筑波大学西アジア文明研究センター。
- 黒沼太一 2023.3 「南東アラビア、紀元前2千年紀前半のワデー・スーク期における墓制の地域性—墓の形態と立地からの検討—」『西アジア考古学』24号 27-45 頁。
- 黒沼太一・三木健裕・田邊幹太郎・近藤康久 2023.6 「オマーン・タヌーフ峡谷の中期青銅器時代集葬墓—型式と構築背景の検討—」『日本西アジア考古学会第28回総会・大会要旨集』59-60 頁 日本西アジア考古学会。
- Kuronuma, T., T. Miki and Y. Kondo 2023.8 The Wādi Sūq Landscape at Bāt (Dhahirah Governorate, Oman) and Its Interregional Significance. *Proceedings of the Seminar for Arabian Studies* 52: 205-219.
- Kuronuma, T., T. Miki, K. Tanabe and Y. Kondo 2023.12 Iron Age Landscape in the Tanuf District, Ad-Dākhliyyah Governorate: A Transmountain Hypothesis Based on Surveys and Excavations in 2017-2023. *The Journal of Oman Studies* 24: 97-122.
- Koizumi, T., H. Ojima and Y. Sogabe 2023.8 An Experimental Firing Study of Clay and Pigments Replicating Materials of Ubaid and Late Chalcolithic Artefacts. In N. Marchetti, F. Cavaliere, E. Cirelli, C. D'Orazio, G. Giacosa, M. Guidetti and E. Mariani (eds.), *Proceedings of the 12th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East, Volume 1*, 403-420. Wiesbaden, Harrassowitz.
- コルチェンコ, V. A. (著)・川崎建三 (訳) 2023.3 「キルギスタン・チュー川流域における中世仏教の考古遺産」東洋哲学研究所 (編) 『仏教東漸の道 インド・中央アジア篇』(シルクロード研究論集 第1巻) 391-433 頁 東洋哲学研究所。
- 紺谷亮一・山口雄治・F. クラックオウル 2023.3 「中央アナトリアにおける銅石器時代解明へ向け—キュルテベ遺跡中央トレンチ発掘調査 2022 年—」日本西アジア考古学会 (編) 『第30回西アジア発掘調査報告会報告集 令和4年度 考古学が語る古代オリエント』22-25 頁 日本西アジア考古学会。
- 近藤二郎 2023.6 「エジプト新王国第18王朝時代の王墓—その立地と構造—」『日本西アジア考古学会第28回総会・大会要旨集』9-12 頁 日本西アジア考古学会。
- 近藤二郎 2023.11 「古代西アジア—新石器時代からヘレニズム時代まで—」大黒俊二・林佳世子 (編) 『岩波講座世界歴史2—古代西アジアとギリシア ~前1世紀—』3-42 頁 岩波書店。
- 近藤二郎・河合 望 2023.3 「計画研究03 「古代エジプトにおける都市の景観と構造」2022 年度活動報告」山田重郎 (編) 『都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究5 研究成果報告 2022 年度』103-129 頁 筑波大学西アジア文明研究センター。
- 齊藤茂雄 2023.1 「モンゴル高原～北中国におけるトルコ系遊牧民と定住民—突厥可汗国期を中心に—」『シルクロード学研究会 2023 冬 資料集』15-24 頁 帝京大学文化財研究所。
- 齊藤茂雄 2023.2 「文献史料から見た碎葉城」『帝京大学文化財研究所研究報告』21集 25-37 頁。
- 佐々木 健 2023.3 「書評 石田真衣『民衆たちの嘆願』大阪大学出版会」『ローマ法雑誌』4号 168-188 頁。
- 佐々木達夫 2023.3 「地域の歴史文化を発掘で復元」『金沢大学考古学紀要』44号 1-14 頁。
- 佐々木達夫 2023.6 「海外調査探訪 (1) 海外発掘の思い出」『古代文化』75巻1号 147-154 頁。
- 佐々木達夫 (編) 2023.7 『中近世陶磁器の考古学 第17巻』雄山閣。
- Sasaki, T. and H. Sasaki 2023.2 Excavations of Dibba Al Hisn Fort 2020-22 Seasons: Sharjah. *Japan Society for Hellenistic-Islam Archaeological Studies* 2021-2022: 63-168.
- 佐々木蘭貞 2023.6 「バハレーン国水中文化遺産調査の可能性」『日本西アジア考古学会第28回総会・大会要旨集』57-58 頁 日本西アジア考古学会。
- 佐藤育子 2023.3 「序 (特集) 古代地中海世界における人々の移動とネットワーク (1) —Identity, Ethnicity, Acculturation—」『史苑』83巻2号 148-158 頁。
- 佐藤育子 2023.3 「古代地中海世界におけるフェニキアの宗教の発展と変容」『史苑』83巻2号 186-212 頁。
- 佐藤育子 2023.11 「歴史学と歴史教育の対話—ある歴史実践の試み」『かいほう』(古代世界研究会) 158号 1-3 頁。
- 佐野克司 2023.3 「前9世紀におけるアッシリアの理念的併合について」山田重郎 (編) 『都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究5 研究成果報告 2022 年度』85-94 頁 筑波大学西アジア文明研究センター。
- Sano, K. 2023.4 The Role of Women in Assyrian Foreign Policy. In N. M. Brisch and F. Karahashi (eds.), *Women and Religion in the Ancient Near East and Asia*, 45-62. Boston, De Gruyter.
- 柴田大輔 2023.3 「古代メソポタミア都市の伝統と景観に関する覚書2—アッシュルナツィルパル二世による新都カルフの祭儀政策—」山田重郎 (編) 『都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究5 研究成果報告 2022 年度』75-83 頁 筑波大学西アジア文明研究センター。
- 柴田大輔 2023.9 「書評 G. レイク著・渡井葉子・青島忠一朗訳『古代オリエント人名事典』柊風社」『オリエント』66巻1号 73-74 頁。
- 柴田大輔 2023.11 「古代メソポタミアにおける神々・王・市民」大黒俊二・林佳世子 (編) 『岩波講座世界歴史2—古代西アジアとギリシア ~前1世紀—』99-118 頁 岩波書店。
- 下釜和也 2023.6 「牧畜と遊牧の起源」小松久男 (編) 『中央ユーラシア文化事典』208-209 頁 丸善出版。
- 下釜和也 2023.7 「古代アナトリアの雄鹿像と金属工芸の歴史」『展示図録 中川衛一美しき金工とデザイン—』116-117 頁 パナソニック汐留美術館。
- Shimogama, K. and H. Numoto 2023.8 Fixing the Time of Middle Bronze Age Pottery and Cuneiform Texts: New Evidence from Tell Taban, North-Eastern Syria. In N. Marchetti, F. Cavaliere, E. Cirelli, C. D'Orazio, G. Giacosa, M. Guidetti and E. Mariani (eds.), *Proceedings of the 12th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East, Volume 1*, 547-558. Wiesbaden, Harrassowitz.
- Jamison, G., A. Uesugi and Y. Yamaguchi 2023.12 Unicorns and Seals: New Multivariate Approaches to Exploring Patterned Stylistic Variation in the Indus Civilization. *Archaeological Research in Asia* 36. (doi.org/10.1016/j.ara.2023.100486)
- Shirai, N. 2023.3 Kom W and Z Basin: Surface Artifact Collection, Culture History, and the Argument over Village Occupation. *African Archaeological Review*

- 40: 205-236.
- 白石典之 2023.1 「カラコルム都市圏における遊牧と定住」『シルクロード学研究会 2023 冬 資料集』53-60 頁 帝京大学文化財研究所。
- 吹田 浩・鶴田浩章・安室喜弘・吹田真里子・西浦忠輝・中村吉伸・肥後尚・末森 薫 2023.6 「エジプト・サッカー遺跡における関西大学の文化遺産保存修復プロジェクト」『文化財保存修復学会・第 45 回於大阪・研究発表要旨集』242-243 頁。
- 吹田 浩・西浦忠輝・A. アーデル・E. アシュラフ・中村吉伸・吹田真里子 2023.6 「エジプト・サッカー地域における古代地下壁画の遺産保存修復と岩盤の問題」『文化財保存修復学会・第 45 回於大阪・研究発表要旨集』62-63 頁。
- Suita, H., T. Nishiura, A. Adel, E. Ashraf and M. Suita 2023.9 Degradation of Ancient Wall Paintings by Salt Recrystallization: The Case of the Underground Burial Chambers in Saqqara, Egypt. In M. Abuku and N Takatori (eds.), *Proceedings of SWBSS ASIA 2023. First International Conference in Asia on Salt Weathering of Buildings and Stone Sculptures, Nara National Research Institute for Cultural Properties Nara, Japan, September 20-22, 2023*, 33-38. Osaka, SWBSS ASIA 2023 Organizing Committee.
- Suga, E., K. Tsukada, O. Tarawneh, S. Massadeh and S. Kadowaki 2023.11 Explaining the Increase in “High-quality Chert” in the Early Upper Paleolithic Artifacts in Southern Jordan: Quantitative Examination of Chert Mechanical Properties and Fracture Predictability. *Journal of Paleolithic Archaeology* 6(1). (doi.org/10.1007/s41982-023-00164-w)
- 杉本智俊 2023.3 「ベテルの「高き所」を求めて—テル・ベイン遺跡（パレスチナ自治区）及びその東の宗教遺構における考古学的一般調査—」日本西アジア考古学会（編）『第 30 回西アジア発掘調査報告会報告集 令和 4 年度 考古学が語る古代オリエント』42-46 頁 日本西アジア考古学会。
- Sekihiko, N. 2023.2 Management of Cultural Assets in Sudan from the Perspective of Sustainable Development Goals. In G. M. El-Qady and C. Margottini (eds.), *Sustainable Conservation of UNESCO and Other Heritage Sites Through Proactive Geosciences*, 691-712. Cham, Springer International Publishing AG.
- Semmoto, M. 2023.8 Tracing the Root of Cord Decoration on Early Bronze Age Pottery in Upper Thrace. In B. Preda-Bălănică and M. Ahola (eds.), *Steppe Transmissions*, 163-189. Budapest, Archaeolingua.
- 千本真生・津本英利（編）2023.8 『西アジアのいきもの』アイワード。
- Takahashi, R., S. Uchida and T. Ogawa 2023 The Architectural and Epigraphical Survey in the New Minya Quarry. In H. Kawanishi, S. Tsujimura and T. Hanasaka (eds.), *Preliminary Report Akoris 2022*, 20-23. Nagoya, Nagoya University.
- 高濱 秀 2023.11 「シアルク B 墓地出土の馬具について」『考古学雑誌』106 巻 1 号 27-41 頁。
- 竹井 良 2023.7 「自然科学的手法を用いたシルクロードコインの材料産地推定」『シルクロード学研究会 2023 夏 資料集』43-52 頁 帝京大学文化財研究所。
- 竹野内恵太 2023.6 「エジプト先・初期王朝時代における儀礼用容器の様式化プロセス」『日本西アジア考古学会第 28 回総会・大会要旨集』17-18 頁 日本西アジア考古学会。
- 辰巳祐樹・久米正吾・新井才二・A. アブディカノワ 2023.3 「原シルクロードの形成 (1) —キルギス、モル・ブラク遺跡 (第 4 次) での地下探査 (2022 年) —」日本西アジア考古学会（編）『第 30 回西アジア発掘調査報告会報告集 令和 4 年度 考古学が語る古代オリエント』75-79 頁 日本西アジア考古学会。
- 田邊幹太郎 2023.6 「前期青銅器時代ユーフラテス中流域におけるステップと低地—テル・ガーネム・アル・アリ近傍墓地群の空間分析から—」『日本西アジア考古学会第 28 回総会・大会要旨集』39-40 頁 日本西アジア考古学会。
- 丹野研一 2023.3 「イラン=アナトリアン植生帯における農耕以前の食糧—タンゲ・シカン遺跡 (イラン南部、後期旧石器時代) におけるピスタチオ属、アーモンド属、エノキ属植物の木の実の出土—」『西アジア考古学』24 号 15-26 頁。
- 月本昭男 2023.3 「テル・ゼロールからテル・レヘシュへ—日本調査団によるイスラエル遺跡発掘調査とその意義—」『西アジア考古学』24 号 81-89 頁。
- Tsujimura, S. 2023 Investigation of the Mummies. In H. Kawanishi, S. Tsujimura and T. Hanasaka (eds.), *Preliminary Report Akoris 2022*, 16-20. Nagoya, Nagoya University.
- 常木 晃 2023.9 「文字の発達前史」春成秀爾（編）『何が歴史を動かしたのか 第 2 巻 弥生文化と世界の考古学』263-274 頁 雄山閣。
- Tsuneki, A. 2023.5 Containers for Spirits: Symbolic Meaning of Early Pottery and Stone Vessels Discovered in Tell el-Kerkh. In O. P. Nieuwenhuys, R. Bernbeck and K. Berghuijs (eds.), *Containers of Change: Ancient Technologies from Eastern to Western Asia*, 203-221. Leiden, Sidestone Press.
- 常木 晃・渡部展也・安間 了・S. ジャンモ・S. A. サーベル 2023.3 「肥沃な三日月地帯東部の新石器化—イラク・クルディスタン、スレマニ地域チャルモ遺跡の調査 (2022) —」日本西アジア考古学会（編）『第 30 回西アジア発掘調査報告会報告集 令和 4 年度 考古学が語る古代オリエント』30-35 頁 日本西アジア考古学会。
- Tsuneki, A., N. Watanabe, R. Anma, S. Jammo, Y. Saitoh and S. A. Saber 2023.3 Preliminary Report of the Charmo (Jarmo) Prehistoric Investigations, 2022. *Al-Rāfidān* 44: 1-34.
- 常木麻衣 2023.6 「古代メソポタミアにおける分銅の標準値に関する予察」『日本西アジア考古学会第 28 回総会・大会要旨集』41-42 頁 日本西アジア考古学会。
- Tsuneki, M. 2023.3 A Study of Frog-shaped Artefacts in Mesopotamia. *Al-Rāfidān* 44: 69-71.
- 津村真輝子 2023.6 「境界域で発行される銀貨の特徴—ヘレニズム・ローマ時代の出土資料を中心に—」『日本西アジア考古学会第 28 回総会・大会要旨集』45-46 頁 日本西アジア考古学会。
- 津本英利 2023.11 『ヒッタイト帝国—「鉄の王国」の実像—』PHP 研究所。
- 徳永里砂 2023.3 「サウジアラビア北西部ワーディー・アル=ヒルカの初期イスラーム時代のアラビア語グラフィティ註解」『オリエント』65 巻 2 号 141-160 頁。
- 中野孝教 2023.3 「気候と地質の相互作用環としての地下水資源—歴史を踏まえた持続的な水資源利用に向けて—」山田重郎（編）『都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究 5 研究成果報告 2022 年度』171-188 頁 筑波大学西アジア文明研究センター。
- 中野智章 2023.3 「書評 竹野内恵太著『エジプト初期国家社

- 会の支配戦略と統治原理』六一書房『西アジア考古学』24号 77-80頁。
- 長尾琢磨 2023.3「ラマッラー～ナブルス間（パレスチナ自治区）における墓地の考古学的踏査」『西アジア考古学』24号 61-75頁。
- 長尾琢磨・山田綾乃・安倍雅史 2023.6「バハレーンにおけるイスラーム墓碑の3次元計測調査」『日本西アジア考古学会第28回総会・大会要旨集』55-56頁 日本西アジア考古学会。
- 西秋良宏 2023.6「南コーカサス中石器～新石器時代の幾何学形細石器」『日本西アジア考古学会第28回総会・大会要旨集』33-34頁 日本西アジア考古学会。
- 西秋良宏・Y. ママドフ・H. ウルビア・三木健裕・仲田大人・若野友一郎・新井オニ・池山史華・田邊幹太郎・宮井しづか 2023.3「南コーカサス地方の新石器時代～アゼルバイジャン第13次発掘調査（2022年）」『日本西アジア考古学会（編）『第30回西アジア発掘調査報告会報告集 令和4年度 考古学が語る古代オリエント』18-21頁 日本西アジア考古学会。
- Nishiaki, Y. and Y. Kondo (eds.) 2023.8 *Middle and Upper Paleolithic Sites in the Eastern Hemisphere: A Database (PaleoAsiaDB)*. Singapore, Springer Nature.
- 西本直子・西本真一 2023.10「古代エジプトの「合板」」『日本建築学会計画系論文集』88巻812号 2814-2820頁。
- 西山伸一 2023.6「イラク・クルディスタン、ヤシン・テベ遺跡出土のアヒル型分銅—アッシリア帝国の度量衡制度の一考察—」『日本西アジア考古学会第28回総会・大会要旨集』43-44頁 日本西アジア考古学会。
- 西山伸一・J. アブドゥル=マッシーハ 2023.3「レヴァント回廊の歴史を探る—第8次（2022年）・フェニキアの港バトルン遺跡の発掘調査—」『日本西アジア考古学会（編）『第30回西アジア発掘調査報告会報告集 令和4年度 考古学が語る古代オリエント』119-123頁 日本西アジア考古学会。
- 西山伸一・山田重郎・沼本宏俊・S. ジャミール・R. サーレフ・H. H. アブドゥッラー 2023.3「アッシリア帝国東部辺境を掘る—イラク・クルディスタン、ヤシン・テベ考古学プロジェクト・第6次調査（2022年）—」『日本西アジア考古学会（編）『第30回西アジア発掘調査報告会報告集 令和4年度 考古学が語る古代オリエント』113-118頁 日本西アジア考古学会。
- Nishiyama, S. and S. Yamada 2023.11 The God Nabû at the Frontiers of the Assyrian Empire: Newly Discovered Inscribed Bronze Neck Ornament from Yasin Tepe, Iraqi Kurdistan. *Zeitschrift für Assyriologie und vorderasiatische Archäologie* 113(2): 250-265.
- 沼本宏俊 2023.3「シリア、テル・タバン出土、中アッシリアの排水溝と貯水遺構」山田重郎（編）『都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究5 研究成果報告2022年度』35-49頁 筑波大学西アジア文明研究センター。
- Hashimoto, H., H. Kuwabara, T. Onozuka and S. Hasegawa 2023.5 Excavating at the Lower Shelf of Tel Rekhesh. In N. Marchetti, F. Cavaliere, E. Cirelli, C. D'Orazio, G. Giacosa, M. Guidetti and E. Mariani (eds.), *Proceedings of the 12th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East, Volume 2*, 281-292. Wiesbaden, Harrassowitz.
- 長谷川修一 2023.10「海外考古学事情〈24〉岐路に立つイスラエル考古学」『月刊考古学ジャーナル』787号 32-34頁。
- 長谷川修一 2023.11『ユダヤ人は、いつユダヤ人になったのか—バビロニア捕囚—』NHK出版。
- 長谷川修一 2023.11「ヘブライ語聖書と古代イスラエル史」大黒俊二・林佳世子（編）『岩波講座世界歴史2—古代西アジアとギリシア—前1世紀—』237-251頁 岩波書店。
- Hasegawa, S., H. Kuwabara and Y. Paz 2023.8 Tel Rekhesh 2019: Preliminary Report. *Hadashot Arkheologiyot* 135. (http://www.hadashot-esi.org.il/Report_Detail_Eng.aspx?id=26379&mag_id=135&previewit=TrUe)
- 長谷川奏・徳永里砂・西本真一・恵多谷雅弘・藤井純夫 2023.3「中世の港町の構造を探る—サウジアラビア紅海沿岸ハウラー遺跡の考古学調査（2022）—」『日本西アジア考古学会（編）『第30回西アジア発掘調査報告会報告集 令和4年度 考古学が語る古代オリエント』59-64頁 日本西アジア考古学会。
- 花坂 哲 2023.6「古代エジプトにおけるハリネズミーその信仰と権能—」『日本西アジア考古学会第28回総会・大会要旨集』25-26頁 日本西アジア考古学会。
- Hanasaka, T. 2023 Finds from the Excavated Area. In H. Kawanishi, S. Tsujimura and T. Hanasaka (eds.), *Preliminary Report Akoris 2022*, 12-16. Nagoya, Nagoya University.
- 花坂 哲・川西宏幸・辻村純代 2023.3「前1千年紀の地方社会の庶民の生活と採石場址—エジプト・アコリス遺跡の調査2022—」『日本西アジア考古学会（編）『第30回西アジア発掘調査報告会報告集 令和4年度 考古学が語る古代オリエント』69-74頁 日本西アジア考古学会。
- 馬場匡浩 2023.6「エジプト王朝成立とビール」『日本西アジア考古学会第28回総会・大会要旨集』15-16頁 日本西アジア考古学会。
- 馬場匡浩 2023.11「初期国家形成期のエジプト—ヒエラコンポリス遺跡にみる社会の複雑化—」大黒俊二・林佳世子（編）『岩波講座世界歴史2—古代西アジアとギリシア—前1世紀—』165-180頁 岩波書店。
- 林 俊雄 2023.3「脇田重雄さんの思い出」『西アジア考古学』24号 91-92頁。
- 春田晴郎 2023.10「イラン古代の文字と言語について（1）：イラン古代の絵文字、線文字、幾何学文字」『窓／パンジュレ』1号 5-14頁。
- ピダエフ、S. R.（著）・川崎建三（訳）2023.3「タルミタ=テルメズの仏教伽藍の歴史に関して」東洋哲学研究所（編）『仏教東漸の道—インド・中央アジア篇』（シルクロード研究論集 第1巻）279-305頁 東洋哲学研究所。
- Pichon, F., J. J. Ibáñez Estevez, P. C. Anderson and A. Tsuneki 2023.8 Harvesting Cereals at Tappeh Sang-e Chakhmaq and the Introduction of Farming in Northeastern Iran during the Neolithic. *PLoS ONE* 18(8): e290537. (doi.org/10.1371/journal.pone.0290537)
- 平野 修 2023.7「春期調査 アク・ベシム遺跡第2シャフリスタン発掘報告」『シルクロード学研究会 2023夏 資料集』29-36頁 帝京大学文化財研究所。
- 藤井慈子・並木秀俊 2023.2「プトレマイオス朝～初期ローマ時代の Tanis/San el-Hagar 出土の金箔ガラス—エジプトにおける截金技法を探る—」『ヘレニズム～イスラーム考古学研究 2021-2022』49-62頁。
- 藤井純夫 2023.11「古代オリエント文明の骨格—都市・農村社会と遊牧部族社会の形成—」大黒俊二・林佳世子（編）『岩波講座世界歴史2—古代西アジアとギリシア—前1世紀—』73-98頁 岩波書店。
- 藤井純夫・上杉彰紀・久米正吾・安倍雅史 2023.3「ヨルダン

- 南部ジャフル盆地の遊牧化—タラアト・ウバイダ高原における銅石器～前期青銅器時代フリント採掘坑群の分布調査(2022) — 日本西アジア考古学会(編)『第30回西アジア発掘調査報告会報告集 令和4年度 考古学が語る古代オリエント』128-132頁 日本西アジア考古学会。
- 藤井純夫・上杉彰紀・久米正吾・安倍雅史 2023.3「アラビア半島の遊牧化—サウジアラビア北西部、ワディ・グバイ遺跡群の第8次最終調査(2022) — 日本西アジア考古学会(編)『第30回西アジア発掘調査報告会報告集 令和4年度 考古学が語る古代オリエント』133-136頁 日本西アジア考古学会。
- Fujii, S., A. al-Mansoor, T. Adachi, A. Al-Munif, K. Nagaya, S. Al-Tamimi, A. Uesugi and T. Odaka 2022 Surveys and Excavations at Post-Neolithic Sites in the Wadi Sharma Area, NW Arabia and Archaeological Investigations at the Wadi al-Muharraq Sites (NW Arabia): Preliminary Report of the 2017 and 2018 Excavation Seasons. *Altai: Journal of Saudi Arabian Archaeology* 32: 179-204.
- 藤澤綾乃 2023.9「初期ビザンティン時代パレスチナにおける教会堂建築規模の変遷—ユダヤ・サマリア地方を対象に—」『オリエント』66巻1号 25-42頁。
- 古松崇志 2023.1「契丹(遼)における都市と定住民」『シルクロード学研究会 2023冬 資料集』25頁 帝京大学文化財研究所。
- ベグマトフ、A.・宇佐美智之・H. ラフマノフ・D. デクルイネール・S. ミルザアフメドフ 2023.3「中央アジア・オアシス地帯における都市の成立・展開過程の研究—ウズベキスタン共和国ギンギテパ遺跡発掘調査(2022年度)—」日本西アジア考古学会(編)『第30回西アジア発掘調査報告会報告集 令和4年度 考古学が語る古代オリエント』124-127頁 日本西アジア考古学会。
- ホッダー、I. (著)・三木健裕(訳) 2023.9『絡まり合うモノと人間—関係性の考古学にむけて—』同成社。
- 本郷一美 2023.3「第15回国際考古動物学会南西アジア分科会(ICAZ-ASWA)開催報告」山田重郎(編)『都市文明の本質: 古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究5 研究成果報告2022年度』27-31頁 筑波大学西アジア文明研究センター。
- 本郷一美 2023.12「狩猟から家畜化への過程」『食肉の科学』第64巻第2号 91-99頁。
- Hongo, H., S. Arai, C. Y. Gündem, B. Öksüz and Y. Miyake 2023.3 Faunal Remains from Salat Cami Yanı: An Early Pottery Neolithic Site in the Upper Tigris Valley. In N. Pöllath, N. Battermann, V. Goebel, S. Emra, P. D. Paxinos, M. Schwarzenberger, S. Trixl and M. Zimmermann (eds.), *Animals and Humans through Time and Space: Investigating Diverse Relationships. Essays in Honour of Joris Peters*, 201-211. Rahden/Westf. Verlag Marie Leidorf.
- 前田 修 2023.3「都市化以前の石器文化伝統一シェイフ・マリフII遺跡の石器群—」山田重郎(編)『都市文明の本質: 古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究5 研究成果報告2022年度』13-18頁 筑波大学西アジア文明研究センター。
- 牧野真理子 2023.2「アフガニスタン文化遺産保護をめぐる国際的な動向」『帝京大学文化財研究所研究報告』21集 145-156頁。
- 松井孝典・西秋良宏・下釜和也・C. ウルダール・森脇涼太・多田賢弘・鈴木健太・新井才二 2023.3「南東アナトリア先石器新石器時代の丘上遺跡—ハルベトスワン・テペシ遺跡の第一次調査(2022年)—」日本西アジア考古学会(編)『第30回西アジア発掘調査報告会報告集 令和4年度 考古学が語る古代オリエント』9-13頁 日本西アジア考古学会。
- 松尾登史子 2023.2「古代マケドニアにおける女神アフロディテの神性に関する検討—同地方出土のヘレニズム・ローマ期彫像から—」『ヘレニズム～イスラーム考古学研究2021-2022』41-47頁。
- 松本 健・小野 勇・西浦忠輝 2023.6「ヨルダンハシュミテ王国ウムカイス遺跡の西円形劇場修復調査報告」『文化財保存修復学会・第45回於大阪・研究発表要旨集』164-165頁。
- 三木健裕 2023.6「イラン南西部ファールス地方新石器時代の土器を再考する—タル・イ・ムシュキ、タル・イ・ジャリB遺跡を中心に—」『日本西アジア考古学会第28回総会・大会要旨集』35-36頁 日本西アジア考古学会。
- 三木健裕 2023.6。「2022年の歴史学界—回顧と展望—西アジア・北アフリカ(古代オリエント)2—」『史学雑誌』132編5号 299-303頁。
- Miki, T. 2023.9 Reconsidering the Gap in Neolithic Fars: Reanalysis of Pottery from the TMB (Tall-e Mushki B) Pit at Tall-e Mushki. In Editorial Collective (eds.), *What Does This Have to Do with Archaeology: Essays on the Occasion of the 65th Birthday of Reinhard Bernbeck*, 259-270. Leiden, Sidestone Press. (DOI: 10.59641/c2g2395e)
- 三木健裕・黒沼太一 2023.1「ルリスタン青銅器と近年のオマーンでの発見について」『Ouroboros』27巻2号 12-13頁。
- 三津間康幸 2023.3「『バビロニアの天文日誌と関連文書』第4巻の公刊」山田重郎(編)『都市文明の本質: 古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究5 研究成果報告2022年度』95-99頁 筑波大学西アジア文明研究センター。
- 南 雅代・浅原良浩・金子将己・片岡賢太郎・H. アミンラゾーリ・H. アジジ 2023.3「西アジアの古環境復元に向けて—イラン北西部の湧水・大気エアロゾルの放射性炭素分析—」山田重郎(編)『都市文明の本質: 古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究5 研究成果報告2022年度』155-164頁 筑波大学西アジア文明研究センター。
- 南澤武蔵 2023.6「『西アジア考古学』の範囲は高等学校でどのように教えられるか—新しい学習指導要領と教科書より—」『日本西アジア考古学会第28回総会・大会要旨集』27-28頁 日本西アジア考古学会。
- 三宅 裕 2023.11「西アジア新石器時代における社会システムの転換」大黒俊二・林佳世子(編)『岩波講座世界歴史2—古代西アジアとギリシア—前1世紀—』147-164頁 岩波書店。
- 三宅 裕・板橋 悠・F. シャーヒン 2023.3「石灰岩の丘に暮らした狩猟採集民—トルコ、チャクマックテペ遺跡、第2次調査(2022年)—」日本西アジア考古学会(編)『第30回西アジア発掘調査報告会報告集 令和4年度 考古学が語る古代オリエント』14-17頁 日本西アジア考古学会。
- ムクルティチェフ、T. (著)・川崎建三(訳) 2023.3「カラテパにおける仏教教団の生活と儀式(復元の試み)」東洋哲学研究所(編)『仏教東漸の道 インド・中央アジア篇』(シルクロード研究論集 第1巻) 307-332頁 東洋哲学研究所。
- 村上智見・A. ベグマトフ・A. サンディゴエフ・S. フジャモフ・G. マハマディエフ・K. アルジエフ・宇野隆夫・寺村裕史 2023.3「ソグディアナの都市を探る—ウズベキスタン共和国クルゴン・テパ遺跡発掘調査(2022年度)—」日本西アジア考古学会(編)『第30回西アジア発掘調査報告会報告集 令和4年度 考古学が語る古代オリエント』94-97頁 日本西アジア考古学会。

- 森部 豊 2023.1「唐の『羈縻』支配と契丹」『シルクロード学研究会 2023 冬 資料集』26-34 頁 帝京大学文化財研究所。
- 矢澤 健・吉村作治 2023.3「紀元前2千年紀エジプトの葬制の変遷を探る—ダハシュール北遺跡第28次調査(2022)—」日本西アジア考古学会(編)『第30回西アジア発掘調査報告会報告集 令和4年度 考古学が語る古代オリエント』65-68 頁 日本西アジア考古学会。
- 矢澤 健・吉村作治 2023.6「エジプト新王国時代のシャフト墓のタイプ分類試論」『日本西アジア考古学会第28回総会・大会要旨集』23-24 頁 日本西アジア考古学会。
- Yasuoka, Y. 2023 The Sistrum and Ionic Capitals Found from Akoris. In H. Kawanishi, S. Tsujimura and T. Hanasaka (eds.), *Preliminary Report Akoris 2022*, 23-28. Nagoya, Nagoya University.
- 山内和也 2023.1「スイヤブをめぐる遊牧民と定住民—アク・ベシム(スイヤブ)遺跡を理解するために—」『シルクロード学研究会 2023 冬 資料集』1-4 頁 帝京大学文化財研究所。
- 山内和也 2023.2「クズラソフによるアク・ベシム遺跡の発掘—層序発掘区と第1仏教寺院—」『帝京大学文化財研究所研究報告』21集 157-252 頁。
- 山内和也 2023.3「前田耕作先生のご逝去を悼んで」『西アジア考古学』24号 93-95 頁。
- 山内和也 2023.7「帝京大学シルクロード学術調査団 2023 年度春季調査の成果」『シルクロード学研究会 2023 夏 資料集』1-15 頁 帝京大学文化財研究所。
- 山口雄治 2023.11「アナトリアにおける後期銅石器～前期青銅器時代集落の研究2」『高梨学術奨励基金年報—令和4年度研究成果報告—』136-141 頁 公益財団法人高梨学術奨励基金。
- 山崎世理愛 2023.6「エジプト中王国時代における襟飾りを用いた葬送儀礼の展開」『日本西アジア考古学会第28回総会・大会要旨集』19-20 頁 日本西アジア考古学会。
- 山田綾乃・高橋奈緒・柴田みな・長尾琢磨・安倍雅史 2023.6「後藤健氏旧蔵、西アジア文化遺産写真のデジタル・アーカイブ化」『日本西アジア考古学会第28回総会・大会要旨集』53-54 頁 日本西アジア考古学会。
- 山田重郎(編) 2023.3『都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究5 研究成果報告2022年度』筑波大学西アジア文明研究センター。
- 山田重郎 2023.3「巻頭言」山田重郎(編)『都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究5 研究成果報告2022年度』1-5 頁 筑波大学西アジア文明研究センター。
- 山田重郎 2023.3「研究ノート：アッシリアの新首都カルフの独自性・新規性について」山田重郎(編)『都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究5 研究成果報告2022年度』63-74 頁 筑波大学西アジア文明研究センター。
- 山田重郎 2023.11「アッシリア帝国—その形成と構造—」大黒俊二・林佳世子(編)『岩波講座世界歴史2—古代西アジアとギリシア—前1世紀—』219-236 頁 岩波書店。
- Yamada, S. 2023.7 The Šulgi Prophecy in the Kassite and Neo-Assyrian Periods: A Consideration of the Original Composition and Its Later Reception. In R. Mattila, R. Rollinger and S. Fink (eds.), *Deciphering Assyria: A Tribute to Simo Parpola on the Occasion of his 80th Birthday*, 407-434. Melammu Workshops and Monographs 9. Münster, Zaphon Verlag.
- 山田雅道 2023.3「エマルにおける寡婦の再婚 夫がそれを勧めるとき」山田重郎(編)『都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究5 研究成果報告2022年度』51-62 頁 筑波大学西アジア文明研究センター。
- 山花京子 2023.3「古代エジプトのファイアンス—白華・浸灰・塗付技法の復元実験から得られた各技法の特徴に関する検討—」『西アジア考古学』24号 47-59 頁。
- 山花京子 2023.11『なんでファラオは男なの?—古代エジプト女王の源流を探る旅—』新泉社。
- 山藤正敏 2023.1「南レヴァントにおける都市の興亡と遊牧民—前4～3千年紀の異生業間ダイナミズム—」帝京大学文化財研究所(編)『シルクロード学研究会 2023 冬 資料集』35-50 頁 帝京大学文化財研究所。
- 山藤正敏 2023.2「アク・ベシム遺跡第2シャフリスタン地区出土土器の年代学的検討」『帝京大学文化財研究所研究報告』21集 1-23 頁。
- 山藤正敏 2023.3「古代都市再考—起源と定義—」独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所(編)『文化財論叢V 奈良文化財研究所創立70周年論文集 奈良文化財研究所学報第102冊 691-710 頁。(doi.org/10.24484/sitereports.132169-121119)』
- 山藤正敏 2023.4「遊牧民の生活痕跡」コラム作寶樓 奈良文化財研究所。(https://www.nabunken.go.jp/nabunkenblog/2023/04/20230417.html)
- Yamafuji, M. 2023.11 Settlement Systems, Cultural Relationships, and Regional Economy during the Early Bronze Age III-IV in the Northern Shawbak, the Southern Dead Sea Valley: New Insights into the Copper Production System of Faynan. *Bulletin of the American Society of Overseas Research* 390: 21-57. (doi.org/10.1086/727053)
- 山藤正敏・B. アマンバエヴァ 2023.3「シルクロード天山北路の形成過程—キルギス共和国、チューン渓谷西部の考古学踏査(2022年)—」日本西アジア考古学会(編)『第30回西アジア発掘調査報告会報告集 令和4年度 考古学が語る古代オリエント』90-93 頁 日本西アジア考古学会。
- 山藤正敏・大谷育恵・齊藤茂雄・山内和也・B. アマンバエヴァ 2023.3「天山山脈北麓に古代遊牧活動を探る—キルギス共和国ケゲティ渓谷の考古学調査(2022年)—」日本西アジア考古学会(編)『第30回西アジア発掘調査報告会報告集 令和4年度 考古学が語る古代オリエント』85-89 頁 日本西アジア考古学会。
- 山本 孟(編) 2023.2『古代中近東における「冥界」—2022年 CISMOR リサーチフェロー研究会プロシーディング—』同志社大学—神学学際研究センター。
- 横尾頼子・堀井彩衣・濱口弘平・前田哲弥・S. メラバニ・安間了 2023.3「イラン7都市の月別降水の主要イオン組成」山田重郎(編)『都市文明の本質：古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究5 研究成果報告2022年度』165-170 頁 筑波大学西アジア文明研究センター。
- 吉田 豊 2023.1「ソグド人と遊牧民の関係を示すソグド語資料について—アク・ベシム遺跡との関係で—」『シルクロード学研究会 2023 冬 資料集』5-14 頁 帝京大学文化財研究所。
- 吉田 豊 2023.2「藤田美術館蔵絹絵マニ像の新発見に寄せて」『帝京大学文化財研究所研究報告』21集 39-48 頁。
- Watai, Y. 2023.4 Women Involved in Daily Management in Achaemenid Babylonia: The Cases of Rē'indu and Andiya. In N. M. Brisch and F. Karahashi (eds.), *Women and Religion in the Ancient Near East and Asia*, 63-80. Boston, De Gruyter.

